

「中学生の音楽 2・3下」(令和3年度用～)  
p.32「Let's Create!」展開例

「カトカトーン」の活用例や  
オススメ情報をお届けします!

# カトカトーン 通信

vol. **2** 改訂版

教育芸術社



# Let's Create!

音の特徴や重なりを感じて  
リズムアンサンブルをつくろう。

本資料では、カトカトーンの特長を生かすために、  
教科書 p.32「課題」の3点目を以下のように変更した場合の展開例を示しています。

- 自分のつくったリズムやリズムアンサンブルに合う音色を工夫する。

## STEP1

### ktk ファイルを開く

カトカトーンを開き、  
【ファイルを開く】を選ぶ。

「3nen\_letscreate (.ktk)」という  
ファイルを開く。



3nen\_letscreate.ktk

## SUPPORT

課題制作のために事前に設定された ktk ファイルは、下の二次元コードからダウンロードできる。事前に生徒に配付しておくとうよい。



## SUPPORT

- おたまちョップは、教科書の例の最小単位となる 16 分音符に設定されている(画面下部より変更可能)。
- 初期設定よりも長い音価のノート(音)を入力する場合は、入力後、そのままのばしたい分だけ右にドラッグしても、ノートの長さを変更することができる。

## POINT

- ノートを埋めることだけが目的にならないように、無音(休止符)の使い方も工夫するように促す。
- 音色の選択は、ある程度制約を設けたほうが指導しやすいと考え、ここでは1人につき2種類を選び、組み合わせるようにしている。

リズムを作成し、音色を選んだ状態のカトカトーンの画面

同じ要領で、次のルーム(小節)に、もう一つのリズムを打ち込む。

つくったデータを適宜保存する。



## SUPPORT

ある程度まとまったところで ktk ファイルを保存しておくとうよい(最終ページ参照)。なお、保存するたびに新しいファイルができ、上書きされないため、ファイル名を変えるなど工夫をして管理する。

## STEP3

### つくったリズムを使ってリズムアンサンブルをつくる (ペア)

- ① 2人一組になり代表者のカトカトーンの「トラック 2」のルーム 1、2 に、もう一人がつくったリズムを打ち込んで集約する。
- ② 4つのリズムパターンをそれぞれ再生して、2人で確認する。

## SUPPORT

左下の再生ボタンは、選択されているルームのみを繰り返し再生することができる。1つのルームのみを選択し再生して、音を確認しながら進めるとよい。

- ③リズムパターンを使って、音の重なり方や構成を工夫しながらリズムアンサンブルをつくり、イメージに合った音楽になっているかを確認する。
- ④中間発表をして、つくった音楽について意見交換をし、それを参考にリズムアンサンブルを完成させる。

### 2人のリズムパターンを集約した画面

選んだ音色  
クラップ  
タム  
オープンハイハット  
バスドラム

それぞれルーム1、2にリズムを打ち込んでから、構成の工夫を開始するとよい。

### リズムアンサンブルの構成の検討例

ルームはドラッグ操作でコピー＆ペーストができる。

同じリズムを重ねる  
同じリズムで掛け合いをする  
違うリズムを重ねる

## STEP 4

### 完成したファイルを楽譜に変換して提出する

「ファイル」の「曲を書き出す【楽譜】」を選択して譜面化する。

楽譜で示したもの

## POINT

- 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を理解しながら、表したいイメージに向けて協力して創作することが協働的な学びの実現につながる。
- 重なり方や構成を工夫する段階で、リズムや音色を変更してもよい。
- 編集が容易なため、生徒がさまざまな試行錯誤を重ねながら主体的に創作活動に取り組むことができる。
- カトカトーンを用いると、人数の都合上3人一組みで活動を行うような場合にも対応がしやすくなる。

## SUPPORT

- 速度を変更したい場合は、**ルール**のBPM(テンポ)設定を活用するとよい(最終ページ参照)。
- リズムパターンを誤って消してしまう懸念がある場合は、集約や保持をするためのトラックを増やすなどして対応するとよい。

## POINT

- 打ち込んだ内容が楽譜になることで、より達成感が味わえる。
- 音の特徴や重なりをどのように工夫したかについて、アプリの画面上だけでなく、楽譜で表記することで、より音楽的な視点で振り返ることができる。

## SUPPORT

- 楽譜はPDFファイルで保存される。その他、MP3ファイルやMIDIファイルで保存することもできる。
- ファイルの提出や共有は、学習支援ソフトウェア等を用いる。

**SUPPORT** : 操作上の補足説明  
**POINT** : 指導上のポイント  
**ADVICE** : 発展的な内容

## 発展的な活動の例

### ●自分の好きな曲にリズムパートを加えてみよう

「中学生の器楽」に掲載されている曲や、自分の好きなアーティストの曲の旋律にリズムパートを加える。

### ●つくった音楽を、ボディー パーカッションやヴォイス パーカッションなど、別の方法で演奏してみよう

## 操作方法

### BPM(テンポ)の変更方法



【スライダー】を使って数値の設定を行う。または、【▲】【▼】をクリックすることで、1ずつ値を設定することが可能。

【タップボタン】は、4回クリックすることで、その平均の速さを検出して数値を設定する。

※【ルールボタン】からは、他にも調や拍子の設定をすることが可能。

### ktk ファイルの保存の仕方

#### ①【ファイルボタン】



ファイルは、端末のダウンロードフォルダ等に保存される（ブラウザの設定で異なる）。

## ADVICE

●あらかじめ旋律が打ち込まれた「聖者の行進」の ktk ファイルを、左の二次元コードからダウンロードできる。



●著作権のある曲を扱う場合、ktk ファイルの共有などは、授業内に留めること。

## カトカトーン4つのポイント

- WEB ブラウザを通じて無料で使用できる
- 簡単な操作で打ち込みができる
- 100種類以上の音を選べる
- つくった音楽を共有できる



本編でつくられた  
ファイル



使い方・資料  
(マニュアル)

本資料の二次元コードからアクセスできるデータは、以下の URL からご覧いただけます。

<https://www.kyogei.co.jp/katokatone/info/>

「カトカトーン」の詳細は右のウェブサイトをご参照ください。



2024年4月発行

株式会社 教育芸術社

〒171-0051

東京都豊島区長崎1丁目12番14号

Tel : 03-3957-1175 (代)

Fax : 03-3957-1174

